

平成28年度 水道事業会計決算の概要

資料1

(1) 経営収支(税抜額)

(単位:億円)

項目	区分	平成28年度 決算 (1)	平成27年度 決算 (2)	対前年度決算		主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100	
収 益	給水収益	300.5	300.6	▲ 0.1	▲ 0.0	
	分担金	5.5	5.0	0.5	9.8	新規加入者の増
	基金からの繰入金	0.0	2.5	▲ 2.5	▲ 100.0	
	受取利息	1.4	1.6	▲ 0.2	▲ 10.4	平均運用利回りの減 0.48%→0.41% (▲0.07%)
	一般会計繰入金 (阪水分)	0.4	0.5	▲ 0.1	▲ 19.2	
	長期前受金戻入	31.8	27.6	4.2	15.2	
	特別利益	9.8	0.2	9.6	5,981.1	固定資産売却益の増(5.1億) 宝塚市加入負担金の皆増(4.5億)
	その他収益	20.7	18.2	2.5	13.5	受託工事収益の増
合計(A)		370.1	356.2	13.9	3.9	
費 用	人件費	59.4	59.7	▲ 0.3	▲ 0.5	支給延べ人数の減等
	受水費	111.7	113.0	▲ 1.3	▲ 1.1	受水量の減等
	物件費	46.3	48.6	▲ 2.3	▲ 4.8	
	減価償却費等	98.4	91.9	6.5	7.0	大容量送水管関連減価償却 費の増
	支払利息	6.7	7.3	▲ 0.6	▲ 7.5	企業債残高の減等
	繰出金 (阪水分)	0.4	0.5	▲ 0.1	▲ 19.2	
	その他費用	3.4	1.3	2.1	173.0	受託工事費の増
	合計(B)		326.3	322.3	4.0	1.3
当年度損益 (C)=(A)-(B)		43.8	33.9	9.9	—	
前年度末累積損益 (D)		42.4	42.4	—	—	
利益処分(自己資本金組 入、建設改良積立金) (E)		▲ 43.8	▲ 33.9	—	—	
翌年度繰越利益剰余金 (F)=(C)+(D)+(E)		42.4	42.4	—	—	

※伸び率は千円単位で計算

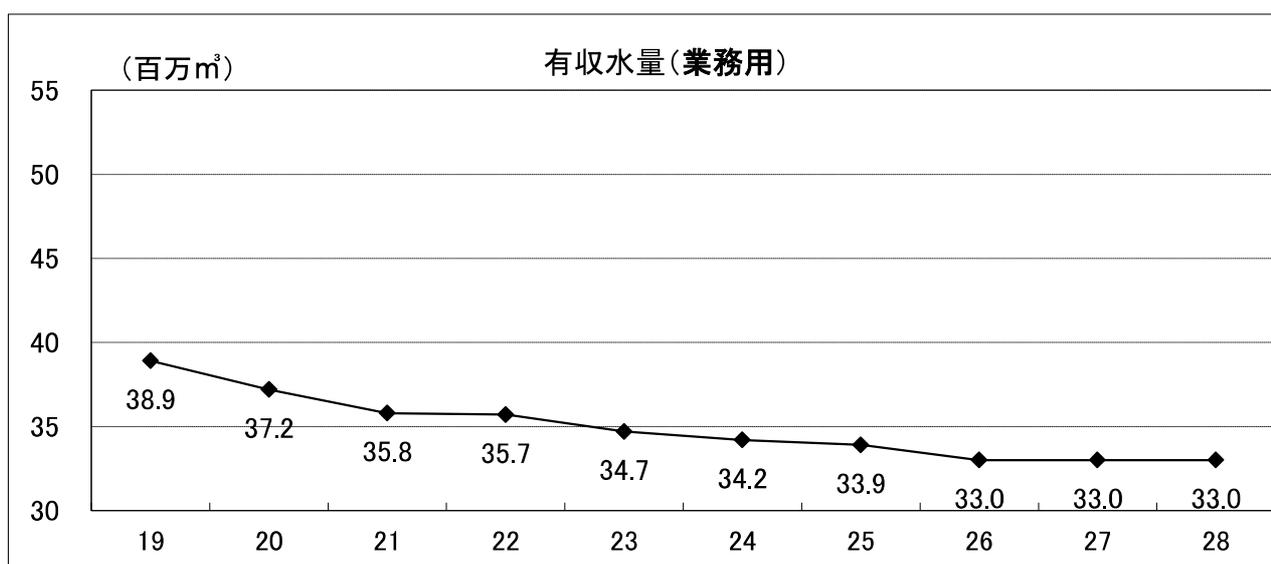
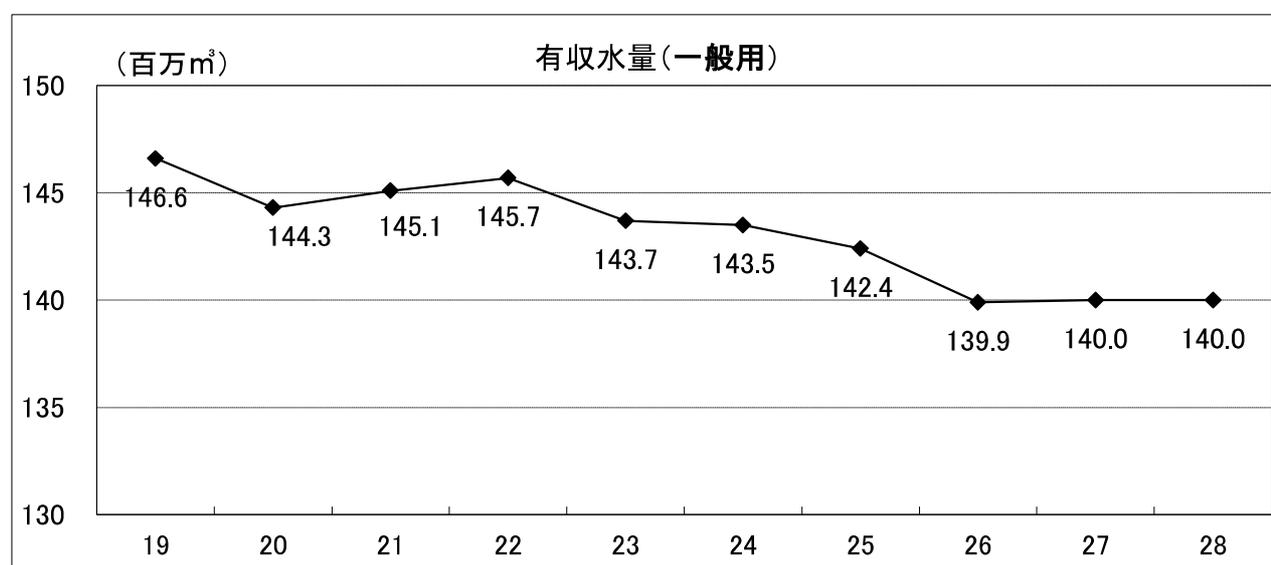
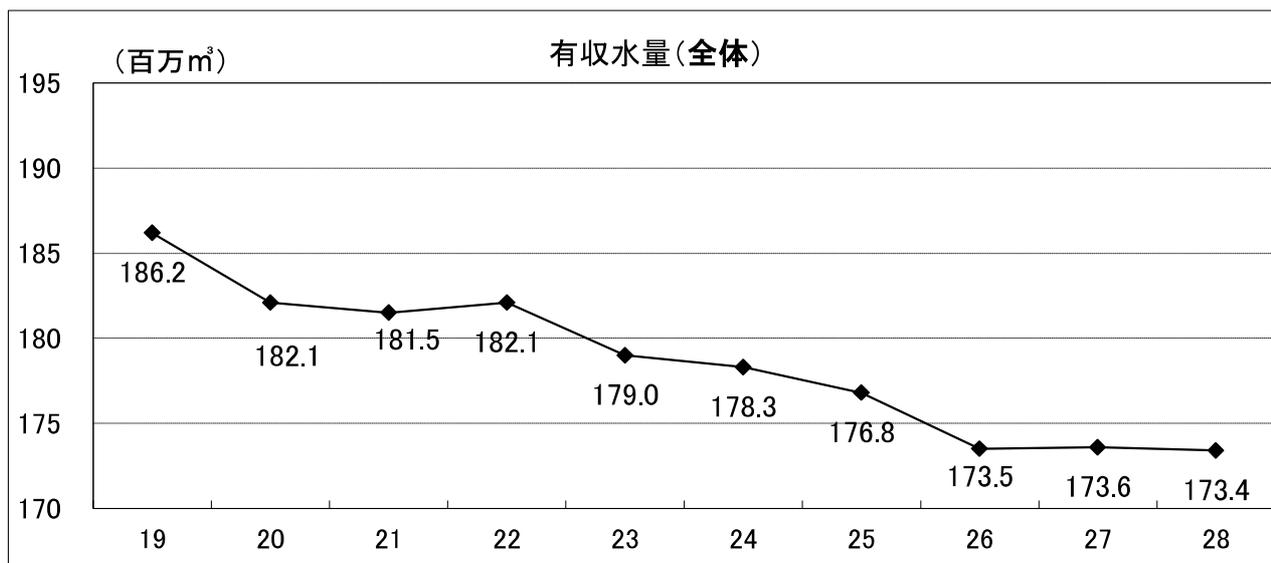
[参考 1]

経営収支（税抜額）〔平成28年度予算・決算比較〕

（単位：億円）

項目	区分	平成28年度 決算 (1)	平成28年度 当初予算 (2)	予算決算対比	主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	
収 益	給水収益	300.5	297.7	2.8	有収水量の増 +1,193千㎡(+0.7%) 延べ戸数 +38千戸(+0.4%)
	分担金	5.5	5.1	0.4	件数の増 8,252件→8,896件
	基金からの繰入金	0.0	0.0	0.0	
	受取利息	1.4	1.6	▲ 0.2	平均運用利回りの減 0.495%→0.41%
	一般会計繰入金 (阪水分)	0.4	0.4	0.0	
	長期前受金戻入	31.8	31.6	0.2	
	特別利益	9.8	11.2	▲ 1.4	固定資産売却益の減
	その他収益	20.7	20.0	0.7	
	合計(A)	370.1	367.6	2.5	
費 用	人件費	59.4	60.5	▲ 1.1	支給延べ人数の減等
	受水費	111.7	112.3	▲ 0.6	
	物件費	46.3	51.2	▲ 4.9	動力費・委託料の減等
	減価償却費等	98.4	99.7	▲ 1.3	資産減耗費の減
	支払利息	6.7	6.8	▲ 0.1	
	繰出金 (阪水分)	0.4	0.4	0.0	
	その他費用	3.4	3.5	▲ 0.1	
	合計(B)	326.3	334.4	▲ 8.1	
当年度損益 (C)=(A)-(B)		43.8	33.2	10.6	
前年度末累積損益 (D)		42.4	42.4	—	
利益処分(自己資本金組 入、建設改良積立金) (E)		▲ 43.8	0.0	—	
翌年度繰越利益剰余金 (F)=(C)+(D)+(E)		42.4	75.6	—	

(2) 業務量の推移



※ 有収水量(全体)には、一般用、業務用のほかに、公衆浴場用等を含んでいる。
26年度、27年度については工業用水道への分水を除いている。

(3) 資本的収支 (税込額)

(単位：億円)

項目	区分	平成28年度 決算 (1)	平成27年度 決算 (2)	対前年度決算	
				差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100
収 入	企業債	0.0	0.0	0.0	0.0
	工事負担金	3.5	4.5	▲ 1.0	▲ 22.7
	国庫補助金	0.8	1.5	▲ 0.7	▲ 48.7
	施設増強負担金	1.4	1.6	▲ 0.2	▲ 11.1
	基金収入 (基金の運用益)	2.0	2.2	▲ 0.2	▲ 7.2
	基金からの繰入金	2.6	9.4	▲ 6.8	▲ 72.8
	一般会計繰入金 (阪水分)	2.7	8.2	▲ 5.5	▲ 67.0
	その他(*1)	7.0	9.0	▲ 2.0	▲ 21.6
	合計(A)	20.0	36.4	▲ 16.4	▲ 45.0
支 出	建設改良費	82.0	80.4	1.6	2.0
	基幹施設整備工事費	12.2	22.2	▲ 10.0	▲ 45.0
	配水管整備増強工事費	47.0	41.8	5.2	12.3
	開発団地等施設等 工事費	22.8	16.4	6.4	39.0
	企業債償還金	20.6	21.1	▲ 0.5	▲ 2.3
	基金への積立	3.4	13.1	▲ 9.7	▲ 74.4
	繰出金(*2) (阪水分)	9.2	8.2	1.0	12.3
	その他	0.0	0.0	0.0	▲ 164.0
	合計(B)	115.2	122.8	▲ 7.6	▲ 6.2
収支差引(A)-(B)	▲ 95.2	▲ 86.4	▲ 8.8	—	

※伸び率は千円単位で計算

*1 固定資産売却代金0.3億+宝塚市の阪水加入負担金(出資金相当)6.5億等

*2 一般会計からの繰入金(元金部分)2.7億

+宝塚市の阪水加入負担金(出資金相当)の一般会計への繰出し6.5億

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額95.2億円は、損益勘定留保資金(当年度の減価償却費など、再投資のために計上している資金)等で補てんした。

[参 考 2]

平成28年度末 神戸市水道事業会計貸借対照表

(単位：百万円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
固 定 資 産 306,427		固 定 負 債 39,731	
有形固定資産 267,423		企業債 29,247	
土 地 25,660		引 当 金 8,006	
建 物 21,593		受水費高騰対策勘定 2,478	
構 築 物 401,236		流 動 負 債 9,334	
機 械 及 び 装 置 55,480		企 業 債 1,941	
車 両 運 搬 具 404		未 払 金 2,969	
船 舶 16		前 受 金 1,281	
工 具 器 具 及 び 備 品 3,353		引 当 金 467	
建 設 仮 勘 定 2,290		その他流動負債等 2,675	
減価償却累計額 ▲ 242,609		繰 延 収 益 96,481	
無形固定資産 82		長 期 前 受 金 158,709	
地 上 権 8		長期前受金収益化累計額 ▲ 75,713	
施 設 利 用 権 15		建設仮勘定長期前受金 13,485	
ソ フ ト ウ ェ ア 59		資 本 の 部	
投 資 38,922		資 本 金 141,774	
投資有価証券 13,889		自 己 資 本 金 141,774	
出 資 金 1,009		剰 余 金 42,656	
基 金 21,774		資 本 剰 余 金 28,866	
破 産 更 生 債 権 等 77		受 贈 財 産 評 価 額 9,222	
貸 倒 引 当 金 ▲ 77		国 庫 補 助 金 615	
そ の 他 投 資 等 2,250		一 般 会 計 補 助 金 209	
流 動 資 産 23,549		工 事 負 担 金 17,990	
現 金 預 金 19,204		施 設 増 強 負 担 金 等 830	
未 収 金 2,665		利 益 剰 余 金 13,790	
有 価 証 券 0		建 設 改 良 積 立 金 5,172	
貯 蔵 品 291		未 処 分 利 益 剰 余 金 8,618	
前 払 金 307			
その他流動資産等 1,082			
繰 延 勘 定 0			
開 発 費 0			
合 計 329,976		合 計 329,976	

「中期経営計画2019」の進捗状況について

●主な「施策内容」及び「年次計画」の進捗状況（平成28年度）

施策内容	年次計画	28年度実績
第1章 水道システムの最適化 ～次世代に、蛇口からいつでも水が飲める水道システムを継承します～		
上ヶ原浄水場の再整備	28年度計画： ・施設規模・事業方式の決定 (28・29年度)	28年度実績： ・自然エネルギーが活用可能であることなど上ヶ原浄水場の優位性を確認。 ・民間事業者等と意見交換していくなかで、情報収集や課題整理を実施。
布引の水のPR・活用	28年度計画： ・ボトルドウォーター「布引溪流」によるPR ・布引溪流の水を活用するための共同研究の実施	28年度実績： ・ボトルラベルデザインをリニューアルするとともに開港150年記念ラベルボトルを作製。 ・布引溪流の水を用いたクラフトビールやコーヒー飲料を民間企業が商品開発。
千苺貯水池流域の水源地涵養	28年度計画： ・「森と水の守り人」養成講座等による保全活動の担い手の養成を含む仕組みづくりや保全活動の実施	28年度実績： ・「森と水の守り人」養成講座（連続講座9回他）の実施（市民ボランティア15名が修了） ・修了生による保全活動の実施（全3回） ・保全活動の仕組みづくり
ポンプ設備のダウンサイジング実施	28年度計画： ・12機が対象	28年度実績： ・12機（能力407kWh減）
マイクロ水力発電の導入	28年度計画： ・送水系統への導入 (候補地の選定及び公募準備)	28年度実績： ・導入候補地を藤原配水場に選定し、小水力発電事業者を公募・決定した。
配水管の更新ペースアップ	28年度計画： ・年間25.0km	28年度実績： ・年間26.2km（目標値+1.2km）
貯水槽水道の適正管理の確認強化	28年度計画： ・啓発活動の実施 貯水槽水道の設置者を個別訪問し、定期清掃・検査の実施などを啓発 ・マンション居住者等、利用者への情報提供	28年度実績： ・保健福祉局と連携し、小規模受水槽の設置者(約3,300件)に対して個別訪問を実施し、受検施設数が増加 (H28年度：1,106件、27年度比+109件) ・マンション管理組合へパンフレット送付 (3,600部)
第2章 災害への備え ～大震災の記憶をつなぎ、あらゆる 危機 に強い水道とともに築きます～		
配水池等の耐震化	28年度計画： ・配水池の耐震化率79.1%	28年度実績： ・82.7%（目標値+3.6%） (赤塚山特1高層の耐震補強などを実施)
緊急時連絡管の整備	28年度計画： ・芦屋市、稲美町、明石市との緊急時連絡管の整備	28年度実績： ・芦屋市、稲美町、明石市と各1箇所ずつ連絡管の整備 (H28年度末5市・1町と12箇所)

貯水機能のある災害時給水拠点の再整備	28年度計画： ・3か所	28年度実績： ・2か所（東垂水中層、西垂水第二高層） ※箕谷中区についてはH29.4に完成
第3章 経営の持続 ～公公・公民連携等を進め、高品質で信頼できる経営を維持します～		
公民連携のさらなる推進	28年度計画： ・業務の集約化や組織再編による事業運営の効率化・最適化	28年度実績： ・西部センターの一部業務について包括委託を実施（H28.10～） ・センター口座受付業務を集約化・委託化（H29.2～）
海外と人的ネットワークの構築・企業とのマッチング	28年度計画： ・JICA（国際協力機構）等を通じた海外からの研修員の受入・地元企業とのマッチング	28年度実績： ・課題別研修を実施（8カ国14名が参加）、地元企業とのマッチングを実施（スリランカにおいて案件が進行中）
第4章 広報とコミュニケーションの充実・強化 ～市民の財産である神戸の水道について語り合い、水道の未来を共創します～		
こうべアクアサポーター制度の推進	28年度計画： ・こうべアクアサポーター事業（第1期）	28年度実績： ・下水道事業と連携し、第1期アクアサポーター事業を実施（65人） ・アクアサポーターによる事業への参画 水道週間イベント運営（10人） 広報ツールの作成等 （広報紙こうべ（29年2月号）、水道料金制度広報冊子、ボトルドウォーターラベルデザインのリニューアル）
多様な広報	28年度計画： ・新たな広報媒体の展開と多様な機会での情報発信	28年度実績： ・新たな広報媒体の展開 マンガリーフレット「知るほどなるほど神戸の水道」（約2,200部） 動画の作成、ホームページ上で公開（凍結予防など3件）
財政状況や経営情報の発信	28年度計画： ・水道料金制度広報冊子の作製 ・ビジョン意見交換会の実施	28年度実績： ・「神戸の水道料金」を作成し、ビジョン意見交換会で意見交換を行った。 ・広報紙こうべ2月号において、水道事業の折り込み紙を市内全戸に配布した。
水の科学博物館の活用	28年度計画： ・水道事業の広報活動拠点として、展示内容等をリニューアル	28年度実績： ・29年3月9日にリニューアルオープン（1F）水の性質を学ぶ子ども向けの展示物を集約し、理科の実験室を拡充。また、テーマシアターに常設ステージを設置（2F）水道事業をPRする水道資料館ゾーンの新設。膜ろ過装置の模型や水耕栽培などの水に関わる新しい取り組みを紹介。 ・リニューアル後の入館者数（29年3月の入館者数6,597人、前年度比 倍以上）

【参考】財政の状況(平成28年度～平成31年度)

(単位：億円)

区分 \ 年度	28年度決算	29年度予算	30年度	31年度
収益的収入	370	359	348	345
うち給水収益	301	298	292	289
うち長期前受金戻入	32	32	31	31
収益的支出	326	327	316	314
うち維持管理費	106	109	102	99
うち受水費	112	111	109	109
うち減価償却費	96	96	96	99
当年度損益	44	32	32	31
当年度損益 (長期前受金戻入を除く)	12	0	※1	※0

※30,31年度は中期財政計画の値